



オンプレミスポリシー

- [DisableMFTForConversationTypes](#) (1 ページ)
- [Disallowed_File_Transfer_Types](#) (1 ページ)
- [File_Transfer_Enabled](#) (2 ページ)
- [H264HighProfileEnable](#) (2 ページ)
- [PreferredFT](#) (2 ページ)
- [Screen_Capture_Enabled](#) (3 ページ)
- [ShowScreenCaptureButton](#) (3 ページ)

DisableMFTForConversationTypes

デスクトップクライアント版 Cisco Jabber に適用されます。

ユーザーが [マネージドファイル転送 (Managed File Transfer)] オプションを使用できる場合は、`DisableMFTForConversationTypes` パラメータを使用して、会話タイプの [マネージドファイル転送 (Managed File Transfer)] オプションを無効にします。

- `P2P` : マネージドファイル転送がピアツーピア会話に対して無効になります。
- `GroupChat` : マネージドファイル転送がグループチャットに対して無効になります。
- `PersistentChat` : マネージドファイル転送が常設チャットルームに対して無効になります。

`P2P;GroupChat;PersistentChat` のように、複数の会話タイプをセミコロンで区切ります。

例 : `<DisableMFTForConversationTypes>P2P;PersistentChat</DisableMFTForConversationTypes>`

Disallowed_File_Transfer_Types

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

ユーザによる特定のファイルタイプの転送を制限します。ファイル拡張子を値として設定する必要があります (.exe など)。

複数のファイル拡張子を区切るには、セミコロンを使用します
(例：.exe;.msi;.rar;.zip)。

例：<Disallowed_File_Transfer_Types>.exe;.msi</Disallowed_File_Transfer_Types>

File_Transfer_Enabled

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

ユーザーが Jabber を使用して他の誰かにファイルを送信できるかどうかを指定します。このパラメータで、ユーザーが他のユーザーからファイルを受信することを妨ぐことはできません。

- true (デフォルト) : ユーザーは相互にファイルを送信できます。
- false : ユーザーは相互にファイルを送信できません。

例：<File_Transfer_Enabled>>false</File_Transfer_Enabled>

H264HighProfileEnable

Windows 版および Mac 版 Cisco Jabber に適用されます。

このパラメータを使用して、H.264 ハイプロファイルの使用を有効にできます。

- false (デフォルト) : H.264 は Jabber でベースラインプロファイルを使用します。
- true : H.264 は Jabber でハイプロファイルを使用します。

例：<H264HighProfileEnable>>true</H264HighProfileEnable>

PreferredFT

すべての Cisco Jabber クライアントに適用されます。

Cisco Unified Communications Manager IM & Presence サーバーがマネージドファイル転送とピアツーピアファイル転送の両方を提供している場合、このパラメータで Cisco Jabber クライアントで優先されるファイル転送方式を指定します。

- MFT : ファイルはマネージドファイル転送オプションを使用して転送されます。
- P2P : ファイルはピアツーピアファイル転送を使用して転送されます。

このパラメータが定義されていない場合、クライアントが Cisco Unified Communications Manager IM and Presence ノードをチェックしてマネージドファイル転送が使用可能であれば、そのオプションを使用します。そうでない場合はピアツーピアファイル転送を使用します。

例：<PreferredFT>P2P</PreferredFT>

Screen_Capture_Enabled

デスクトップクライアント版 Cisco Jabber に適用されます。

ユーザーがスクリーンキャプチャを取得できるかどうかを指定します。

- true (デフォルト) : ユーザーはスクリーンキャプチャを使用できます。
- false : ユーザーはスクリーンキャプチャを使用できません。

例 : <Screen_Capture_Enabled>>false</Screen_Capture_Enabled>

ShowScreenCaptureButton

デスクトップクライアント版 Cisco Jabber に適用されます。

スクリーンキャプチャ ボタンを有効にするかどうかを指定します。

- true (デフォルト) : スクリーンキャプチャボタンが有効です。
- false : スクリーンキャプチャボタンは無効です。



(注) このパラメータを無効にすると、Windows ではスクリーンキャプチャ ボタンが非表示になり、Mac では無効になります。

例 : <ShowScreenCaptureButton>>false</ShowScreenCaptureButton>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。